第180号
令和4年10月14日発行

東そのぎ議会だより

もくじ

- 2～3ページ　9月定例会 **議員定数8名へ**、町民アンケート結果
- 4～5ページ　令和3年度決算認定
- 6ページ　条例制定・改正、補正予算
- 7ページ　8月臨時会・区会長との意見交換会
- 8～11ページ　一般質問（7名）
- 12～13ページ　各常任委員会活動報告
- 14ページ　傍聴者の声・編集後記

東彼杵町ホームページ
議会情報

発行：長崎県東彼杵町議会　長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1850番地6　発行責任者：東彼杵町議会議長
編集：東彼杵町議会広報編集特別委員会　【電話】0957-46-0177　【メール】gikai@town.higashisonogi.lg.jp

議員定数３人削減案を可決

６月の定例会で議会改革特別委員会に付託を受けていた発議第１号東彼杵町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（１１人→８人）と発議第２号（１１人→１０人）について委員長報告のあと発議１号が採決されました。

議員名	林田	立山	口木	浪瀬	大石	尾上	後城	浦	森	橋村
反対			○	○		○	○			
賛成	○	○			○			○	○	○

反対討論

議員の役割としては、町民の声を反映させ執行部と共に問題解決を図り、住みやすい環境を整えていく重要な役割がある。面積も約７４㎢と広範囲であり、道路や河川・水路等の幅広い監視が必要で、各地域の多様な意見に耳を傾けながら一定の方向性を見出し、住民の福祉向上に当たらなければならない。中心部から離れた中山間部の集落からは議員の選出も厳しくなり、若い人が立候補を断念することが予想され、人口減少にますます拍車をかける。定数の急激な削減は議会運営等にも大きな支障をきたし、現在の委員会構成で行くと議長を除けば３人と４人になり重複する議員も出てくると思う。委員会は同時にできず待たなければならない。一度削減した定数は、簡単に元に戻せない。佐々町、小値賀町の議員の話では、急激な定数削減で大変困っていると聞いた。県の議員研修会でも講師の先生は定数削減すべきでないと事あるごと話されている。議員定数を８人にという急激な削減は禍根を残すばかりでなく、議会無用論が飛び出す好ましくない状況になるのではないか心配。

賛成討論

アンケート調査で９９名の内、回答者総数７０名の６割が８人にすべきとのことで、反対意見でもっともな意見もあるが、民意を大切にして町政に反映していくことが民主主義である。平成３０年、３１年にも同じ削減の発議が出ているが、新人３人がいる中で先輩方の議員活動を見て、我々３人がいなくても十分できると判断した。人口規模に対して議員８人は妥当である。議員が減ったからと言って議員の役割が変わることはない。少数人数であっても議員各位の活動充実で十分町民の声は吸い上げることが出来る。委員会の構成で複数の委員会に所属することは、時間はいくらでもあるのでいくらでも待って審議すればよい。若い人の立候補については、意欲があれば挑戦されると思う。町民から、議員、議会が何をやっているのか良く分からないということをよく聞く。本当にやる気のある議員を選んでするべきだ。佐々町は急激に減ったということで議会として大変困っていることは、事実と思う。佐々町自体は停滞するわけでは無く人口も減っていない。

議員定数アンケート調査・意見

議員定数についてのアンケート調査を区長、民生委員、各組織の代表の方々９９名に依頼し、その内７０名が回答されました。また、それぞれ意見を頂いておりますので、主なものを紹介します。

現在の１１人　（５名）

町議に立候補した時から議員報酬は分かっているはずだが、報酬が少ないから生活出来ないとか、新人の立候補者がいないというのは違う。定数削減は、窓口も狭くなり立候補をやめるのでは。削減より町や地元のことを考え、川棚・波佐見・東彼杵３町のバランスも考えないと東彼杵町は低くみられる。

８人に削減　（４２名）

定数を減らし、議員報酬を上げれば若い人も議員になる人が増える。定数が減ることは、多くの町民の声が反映されにくい点は否定できないが、人口から考えれば適当。町民の意見は議員の活動努力で吸い上げることが出来る。議員の中には資質を疑う方がおり、議員同士での誹謗中傷が垣間見え、町をどうにかしようと思う議員がいるのか何をしたいか見えないので、減らすべき。議員の仕事の大部分は各地区の区長で補える。農業立町であり、農業が元気でなければ、町の発展はなく、反対意見ばかり町の足を引っ張る議員はいらない。人口が減少していくのは見えているだけに議員の数は減らす方向がよい。財政的には厳しいが、議員の資質向上のため議員報酬の見直しは必要。人口減少の今、少数精鋭で常に学び、努力する人たちにお願いしたい。今の議員活動は何をされているのか分からない。議員として職責と活動を現場主義で実行し、自覚と職責を全うして欲しい。人口減少に対して１１人は多すぎる。重箱の隅をつつくような質問が多いように感じる。過疎化に起因した政策課題は多くある中で、高齢者問題、介護と施設関係等、議論が見られない。

１０人に削減　（１７名）

奇数定数議会をなくし、議長の中立性を保つ。人口が減少している中で、１０人を選んだが議員数が少ないと議論にならないのでは。東彼杵町が豊かになるような議論を願いたい。議員一人一人の負担が増加してきめ細かな議員活動が出来ない。議員数が少人数では、議員の存在があるのか疑問。議員の役割である行政のチェック機能とは何かを、重点に置くべき。行政の立場や住民の意思を踏まえ、行政のバックアップ、行政への問題提起が必要。

１２人に増員　（２名）

人口減少が進行する中で、重複する委員会ではなく専門的な視点を持って色々な問題に対応し、そのために増員し、子ども達に負担の少ない活気ある東彼杵町を確立してほしい。議員数が減るということは、町民の意見が偏ってしまう。町民のための議会運営を望む。

議会に委ねる　（４名）

判断するには、情報量が少なすぎる。議員定数は全国の多くの自治体の懸案事項で、いろんな事項を調べ町民に知らせることも必要であり、町民の見識を深め関心を高めることも必要。

※　その他の意見は、次ページに掲載しています

議員定数アンケート内でのその他の意見

◆町の将来についての質問が少なく、個別の案件は各委員会で議論すべき。
◆議会をネットワークで視聴できるようして頂きたい。
◆議員の数が多く町政のことが伝わることが少ない。
◆本町は活気がなく、働く議員と働かない議員がいるようだ。
◆アルバイト感覚でやっている様に見受けられる。
◆議会内のゴタゴタが多く、もっと未来に目を向けるべき。
◆批判的なことばかりでなく、建設的な意見もほしい。人口に対して議員数は当然減らし、その分を子どもやその他必要な支援に回してほしい。
◆これからの議会においても若い力と行動力を必要としている。
◆一般質問では、毎回議員全員で質問を考えて欲しい。
◆議員の質を非難する議論は聞き苦しく醜い。やめて欲しい。
◆もっと町政について議論し、職員問題、議員同士の言い争いはやめて欲しい。
◆議員の資質が多少問われる。町民の代表としての自覚を持って行動して欲しい。
◆頑張っておられることの発信が足りないかもしれない。

令和3年度全会計の決算

全会計認定

（１万円未満切捨）

会計別	歳　入	歳　出	差引残額
一般会計	６７億6,０９６万円	６４億5,９６０万円	３億１３６万円
国民健康保険事業特別会計	１１億６１３万円	１０億8,６７４万円	1,９３９万円
介護保険事業特別会計	８億5,９８０万円	８億4,３３４万円	1,６４５万円
公共用地等取得造成事業特別会計	３３万円	２万円	３０万円
農業集落排水事業特別会計	6,５６３万円	6,３８８万円	１７４万円
漁業集落排水事業特別会計	1,２８５万円	1,１８９万円	９５万円
後期高齢者医療特別会計	１億1,５９６万円	１億1,４３１万円	１６４万円

一般会計では、自主財源の町税や寄付金は増となっています。依然として依存財源に頼るところが大きい現状であるが、財政運営及び資金収支は効率的に行われており、基金については、地方公共団体金融機構債の購入など、有効的な運用に努められています。

公営企業会計では、一般会計からの繰り入れがあり、黒字決算となっていますが、人口減少を踏まえ施設規模等を十分に検討され、効率的な資産運用で、健全経営に努めるよう要望しました。

決算審査特別委員会で集中的に審査・検証

議会からの主な意見！

国民健康保険の保険税の滞納分の徴収強化へ！

不納欠損が続いており、単年度での収支が赤字。保険事業の安定運営を図られたい。

町道や町有地の維持管理費増加を！

町内の高齢化率は極めて高くなりつつある中で作業が困難。次年度から町道維持管理費の予算増額を検討されたい。

イノシシ捕獲報奨金アップへ！

有害鳥獣による農作物の被害が多発しているため、地産地消推進の立場から１頭当たりの捕獲報奨金を増額し、捕獲頭数のアップを図れないか。

新白井川団地空き室が増加！

家賃の再検討や部屋のリニューアル化を図れないか。

町営バス運行の見直しを！

令和３年度町営バスの年間利用者が激減した路線は変更等、抜本的な見直しが必要ではないか。

令和３年度水道事業会計の決算

(1万円未満切捨)

区　分	収　益	費　用	経常利益
収支合計	２億4,５５１万円	２億1,８２４万円	2,７２７万円

令和３年度公共下水道事業会計の決算

(1万円未満切捨)

区　分	収　益	費　用	経常利益
収支合計	２億9,３０１万円	２億5,７８５万円	3,５１５万円

財政健全化判断比率

財政指標の算定となる事項については適正である。実質公債費率の0.9％減少については大村東彼杵広域農道整備事業償還金の減、将来負担比率について13.6％改善したことは地方債現在高の減及び標準財政規模の増が影響している。

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和２年度	−	−	10.4	63.0
令和３年度	−	−	9.5	49.4
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

8月29日臨時会

可　決

財産減額貸付について

旧大楠小学校については、施設の安定的な活用と産業振興による地域活性化に資することを目的に、未利用施設をコオロギの養殖施設として減額貸付を行う。

（1）建物　　　　　　　1,076平方メートル
（2）土地　　　　　　　　703平方メートル
（3）減額貸付先　　　　株式会社　ウラノ
（4）減額後の貸付金額　年間２６万８,３００円
（5）住民説明会を７月３日と７月１３日に実施

議員名	林田	立山	口木	浪瀬	大石	尾上	後城	浦	森	橋村
賛　成	○	○	○	○		○	○	○		○
反　対					○				○	

賛　成

①今後利用者がいないと多額の維持管理費がかかる。管理費削減の為にも減額して貸し付けた方がよい。
②公募してもなかなか応募者がいなかった。今回は町内企業でもあるので、町の活性化にもなると思う。

反　対

①月２万２,０００円では安すぎて町民の納得が得られない。もっと相手方と協議する必要がある。
②２０年の契約期間については賛成だが事業の進捗状況に応じて貸付金額を見直すように協議すべきだと思う。

町政について区長会と議会の意見交換会

（令和4年9月15日開催）

各地区からの意見等

（町道や住環境の整備など）

・拡幅中の道路の早期完成。
・ひび割れ凹凸がある道路の早期補修。
・山間部の狭い生活道路への離合場所。
・ひび割れ等がある水路の補修。
・白線が薄くなっている主要道路の補修。
・主要道路の支障木の伐採。
・２０５号線の迂回路の整備と渋滞場所のお知らせ。
・町道管理の交付金を増額して欲しい。
・大村湾パーキングに高速バスの停留所を設置して欲しい。

（地域行事や自治会加入など）

・地域のお祭りや奉納相撲の開催。
・精霊流しができるように、海岸の提供をしてほしい。
・自治会内の未加入者のへの対応を町にしてほしい。

条例制定・条例改正

全て可決

- **東彼杵町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例**
  ※電子申請サービスの方法による町行政手続等の実施を可能とするための共通事項を定めるため
- **東彼杵町過疎地域持続的発展特別事業基金条例**
  ※過疎地域持続的発展特別事業実施のための基金を積み立てるため
- **東彼杵町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例**
  ※事業所への税制支援を行い産業の振興を図るため（国から75%の補填あり）
- **職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例**
- **東彼杵町議会議員及び東彼杵町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例**

東彼杵町過疎地域持続的発展計画策定

※過疎債活用の事業を長崎県に承認してもらうため。詳しくは町のホームページへ！

新しい選挙管理委員会委員及び補充員の当選が決定しました。《敬称略》

◎選挙管理委員

島田	幸一郎	（蔵本郷）	再任
滝川	文子	（蔵本郷）	再任
齊藤	仁	（駄地郷）	新任
中山	文子	（千綿宿郷）	新任

◎補充員

松山	為則	（蔵本郷）	第１順位
一瀬	文子	（木場郷）	第２順位
松山	昭	（三根郷）	第３順位
森	佳江	（彼杵宿郷）	第４順位

下記の方が、固定資産評価審査委員会委員に選任され同意しました。《敬称略》

一瀬　利秋　（木場郷）　　再任

一般会計補正予算

可　決

３億３３１３万４千円が追加され、総額６３億３２６０万５千円となった。　（1万円未満切捨）

追加された主なもの	補正額
①庁舎DX化コンサルティング業務委託料、LINE情報発信サービスシステム利用料	3,092万円
②子育て世帯生活支援特別給付事業	4,425万円
③新型コロナ予防接種事業費（オミクロン株対応ワクチン）	5,628万円
④農業資材価格高騰対策緊急支援事業補助金及び東彼杵町農業用等燃油価格高騰対策緊急支援事業交付金	8,667万円
⑤大音琴川護岸補強工事及び塩鶴川渓流保全事業	4,554万円
⑥そのぎ茶プレミアム戦略事業委託料及びそのぎ茶販路拡大促進支援事業補助金	1,374万円
⑦応急工事及び河川管理業務委託料	1,019万円

町政を問う！ ７名が一般質問

一般質問とは

町の行政全般にわたり町長等執行機関に対して行う質問。制限時間60分以内。
会議録は後日ホームページで閲覧できます。

（本稿は質問者の責任で作成しています）

1 **橋村　孝彦　議員**
●耕作放棄地を利活用し自分たちの食べるものは自分たちで作る、自産自消の推進（自給自足）を支援しましょう

2 **大石　俊郎　議員**
●「中学校統廃合に関する提言書」の反映状況等について
●消防団員の報酬や活動状況について

3 **浪瀬　真吾　議員**
●各地域と各種団体の要望対策について
●新型コロナウイルス感染症の対策について

4 **立山　裕次　議員**
●東彼杵町過疎地域持続的発展計画について
●千綿女子高等農学園跡地活用の今後と展望について
●大村湾を活用したイベントの開催について

5 **口木　俊二　議員**
●消防団ポンプ操法大会用の訓練場所確保について
●防災・減災について

6 **尾上　庄次郎　議員**
●ヤングケアラーの実態について
●新白井川団地の居住状況について
●彼杵小学校の教職員関係者の車の駐車場について

7 **林田　二三　議員**
●人と猫の共生に向けての取り組みについて

橋村　孝彦　議員

自産自消の推進を

【橋村】我が国は戦後、経済復興に全力を挙げ取り組んで来たが貿易も順調に推移し工業製品を輸出し食料品は輸入に頼ると言う構造は食料自給率低下の要因でもある。
農業より工業、商業、優先の政策は鉱物資源を大量に消費し環境破壊を招いて日本の原風景は減少傾向だ。
夏場の水田は気温上昇を抑える効果もあるが棚田など不効率な圃場から耕作放棄地が増え後継者不足や高齢化も相まって小規模農業では成り立たないのが現状だ。
解決策の一つとして自産自消（自分たちが食べる分は自分たちが作る）が考えられる。
２０２５年団塊の世代が後期高齢者となりますが、まだまだ元気な方もいます、定年退職後、何をするか模索中の人もいます、土いじりの好きなご婦人方もいます。
余剰労力の活用、趣味の拡大、自前の食料確保は健康的であり医療費削減にも寄与する。自産自消が耕作放棄地解消に資すると思うが。

【町長】耕作放棄地再利用や家庭菜園は自給率向上に資すると思うが、多くの放棄地は山間部に集中し非農地であり現状に戻すのは厳しく再利用が進んでいない。

【橋村】橋ノ詰にふれあい農園と言うのが有る。町から幾ばくかの機材を助成頂き多くの高齢者が楽しみながら成果を上げている予算投入より効果が大きい。今後、この様な事案を増やす考えは。

【町長】町周辺の放棄地なら考えられる。

【橋村】グループで取り組み、山間部の放棄地を再利用出来れば所有者も協力するのでは。

【町長】実現を期待したいが多くが原野化し厳しいと思われる。

【橋村】この様な事案は行政と住民が一体となって取り組むことが重要と思うが。

【町長】先ず家庭菜園を推奨し、道の駅等で販売し利益が出る事を期待したい。

【橋村】利益を目的としていない。地方の課題は地方で解決するべきだろう。

【町長】農学園跡地も今後、町民農園として活用する予定であり出来る範囲で考えたい。

大石　俊郎　議員

中学校統合後、提言書の反映状況は

【大石】中学生のスクールバス運行が、平成30年3月の教育委員会提言書どおり運行されていないのは「不公平ではないのか」という保護者の声が寄せられているが。

【町長】来年選挙がありますので、6月以降全地区でのスクールバス運行を考えている。教育委員会に検討指示している。

【大石】提言書に「統合（平成31年4月）から5年の間を目途に新設中学校を建設することを目標に通学距離に偏りが生じない場所を検討する」とあるが。

【町長】現在の校舎は、耐用年数まで20年余裕がある。人口、出生数が減少する中、将来の学校規模をどれ位にするのか、来年度から協議し10年位かけて準備をしたい。

【大石】東彼杵中学校の門柱標記は、従来のまま「彼杵中学校」となっている。変更される計画はあるのか。

【教育長】15年以上前から閉鎖され、現在は使用されていない。従って、門柱標記は、従来のままとなっている。学校・学校運営委員会の意向を踏まえ検討したい。今年度中に、標記を変更したい。

団員報酬、個人口座振込へ改善なるか

【大石】消防団員への報酬支給方法は、消防庁の通知によると直接支給を強く求められているが。

【町長】個人に支給するようになっているが、現在は消防団との協議を踏まえ、出動手当は個人に、年額報酬は分団を経由して、個人に支給している。

【大石】団長や副団長の報酬は、波佐見町や川棚町と比較して倍近く支給されているが。

区　分	東彼杵町	川棚町	波佐見町	交付税単価
団　長	288,000円	148,500円	157,000円	82,500円
副団長	240,000円	111,000円	115,000円	69,000円
基本団員	36,500円			36,500円

【町長】2町と比較して13万円程度の差があります。理由は、2町では出動手当や分団長会議の手当も支給されています。本町では年俸重視、2町は出動重視となっています。又、本町は面積（川棚の2倍）が広いのも理由の一つです。※出動手当は、本町も今年4月から支給と条例改正された。

浪瀬　真吾　議員

各地域と各種団体の要望対策は

【浪瀬】ウクライナ戦争と円安による影響で、国内の物価は上昇を続けており、農業をはじめ各種事業者の生産コストは上がり、経営を圧迫している。そういう中で町政懇談会を実施されているが、現段階では何地区で出席者数はどの程度か。

【町長】これまで21地区で平均20名弱、役員だけのところもあった。残りの2地区は断念し、4地区は今月中に開催する。

【浪瀬】各地域の主な要望は。

【町長】主に町道整備、町道草払い、スクールバス、町営バスに対する要望です。

【浪瀬】各地域の要望を早期に実現するために、どういった方法を考えておられるか。

【町長】早期に実現するためには、緊急性の高いものは一刻も早く、その他は地域間のバランスと地区内での優先順位を決め、過疎債を使って実施できるものは、早期実現につながる。また、地元施工で出来る事業は、積極的に予算化をする。

【浪瀬】ＪＡから生産資材等の高騰により、要望に来られたと聞いているが、どんな要望か。

【町長】肥料の価格高騰に対する影響緩和対策仕組み増設、燃料・飼料のセーフティーネットの安定運営改善、新型コロナウイルス対策継続の要請です。

【浪瀬】過疎対策事業債の適用は。

【町長】ソフト事業は、すでにソフト事業分で限度額を上回っているので、人口減少対策に資するソフト事業を考えている。ハード事業については、優先順位を見極め進める。過疎債の適用については、地域間のバランスを考え進める。

新型コロナウイルス感染症の対策は

【浪瀬】長崎県の新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの感染者数は、全国3～4位と高水準の中で東彼杵町は、9月7日現在で累計８６４名となっており、ワクチン接種はもとより今後どういったことを推奨し、対策を講じられるのか。

【町長】ワクチン接種の方法については、厚労省の接種方法に基づき確実かつ迅速に接種促進を図る。行政活動や地域での会議・催し物等については、大規模なものを除き開催は制限しないが、必要なのは十分な換気、マスク、手洗い、消毒、密集を避け、短時間での会議を推奨している。

【浪瀬】コロナ禍において飲食業や農業者が大打撃を受けている中での対策は。

【町長】国も緊急対策を打ってくる中で、町単独で出来る分は支援をする。

立山　裕次　議員

東彼杵町過疎地域持続的発展計画の内容は

【立山】バスセンターや車両基地の改築を計画されているが内容は。

【町長】場所については、現在地、道の駅等を考えているが、新庁舎の位置が決まらないと分からない。

【立山】教育の振興というところで、スポーツ能力測定を行い、新たなスポーツ挑戦への機会を作るとのことですが、具体的には。

【教育長】スポーツイベントが出来なくなり、運動をしない子供たちが増えているので、普段行わないスポーツ能力測定を行い、個々が向いているスポーツに興味を持ってもらいたい。

【立山】持続的にスポーツに親しんでもらうために、児童生徒は「スポーツクラブ東彼杵」に自由に参加してもらい、自分の好きなスポーツをするために会費や保険料などを町が補助出来ないか。

【教育長】急な話で即答は出来ないが、検討してみる。

【立山】移住・定住促進の中で通勤経費補助を計画されていますが具体的には。

【町長】10代から30代の方で定住をされ近隣市町以外へ通勤の方を考えている。

千綿女子高等農学園跡地活用の今後と展望は

【立山】跡地については町民農園として活用の計画をされていますが、新型コロナの影響で遅れています。今後も予定通り行うのか。

【町長】まずは令和5年度に建物の除却を行い、過疎債を活用し令和9年4月開園を考えている。

※新型コロナの影響で整備が遅れている千綿女子高等農学園跡地

大村湾を活用したイベントが出来ないか

【立山】大村湾は町の資源であり大きなレジャー施設ではないかと思います。大村湾を活用し、コロナ禍でも行いやすい親子あるいは家族魚釣り大会を実施できないか。

【町長】魚釣り大会は考えていないが、移住者の方と観光協会が協力をしてカヤックツアーを計画している。

口木　俊二　議員

消防団操法大会用の専用のレーン設置は

【口木】消防団操法大会をどう受け止めているか。

【町長】団員が迅速・確実かつ安全に行動する為に定められた機械器具の操作や、取り扱いを競うものであると思っている。

【口木】議員時代も含め町長は操法大会を応援に行ったことがあるか。

【町長】県の操法大会には行っていないが東彼分会と第5分団の練習時に行ったことがある。

【口木】出場する分団は郡の代表として戦うが、団員が誇りと自信を持って戦うが、団員が練習時にストレスを感じないためにも操法大会用の専用のレーンの設置が必要と思うが。

【町長】今のところ、新港グラウンドの一角を考えている。直線距離で60mくらいのコースが確保出来ると思っている。アスファルト仕様で雑草防止にもなるのではないか。

H28年県操法大会

町が管理している災害用の備蓄品はどこに配置しているのか

【口木】福祉避難所開設の考えは。

【町長】災害時には開設をしている。

【口木】福祉避難所としての場所は。

【町長】社会福祉協議会の方で開設をしてもらっている。

【口木】非常用備蓄品は。

【町長】毛布・飲料水・簡易トイレ等3か所に分けて備蓄している。

町内の小中学校にヤングケアラーは

【口木】大人に代わって日常的に家族の世話や介護をする児童生徒が町内の小中学校に在籍しているのか。

【教育長】児童生徒、保護者からは報告はきていない。実際には0だとは言い切れない。

【口木】もし児童生徒から相談があった場合は。

【教育長】県、町の担当者から連絡があった場合は対応をする。県教委から派遣されているｓｓｗ（スクールソーシャルワーカー）と対応をしていく。

【口木】学校としての児童生徒へのマニュアルや対応はどうしているのか。

【教育長】国や県によって調査しても対応していくことは難しい。厚労省より7月20日、多機関多職種でのヤングケアラーの支援マニュアルが公表され学校に通知した。

尾上　庄次郎　議員

新白井川団地の居住状況について

【尾上】新白井川団地にはつばき棟、さくら棟、ぼたん棟の3棟があるが郵便受けには多くの封がしてあり、どういう状況になっているのか。何らかの政策で空けているのか。

【町長】3棟で36戸の住居があるが、その内8戸が空きの状態、ポストがチラシ等で一杯になり、他の人に迷惑をかけていたので封をしている。政策空き家ではない。

【尾上】「広報」等の中で募集していないが。

【町長】「ホームページ」でずっとしていた。一回は見に来られるが定住がない。住宅も老朽化しており今の若い人達にはニーズがなくなったのかなと思う。

【建設課長】ここは特定公共賃貸住宅で1ヵ月3LDKが5万3千円、2DKが4万4千円で家賃が決まっており民間とあまり差はない。

【尾上】東彼杵町も「空き家がない」と言っている中で家賃を下げてでも検討できないのか。

【町長】家賃は下げることは出来ない。今後リニューアルして内覧会等で住んでみたいと思われる状況を作っていかなければならないと思う。今、千綿の方に公営住宅の建設を予定しているのでそちらの方も進めていきたい。又、子供の遊び場等については「新港グランド」や「河川公園」で施設の充実を進めていく。

彼杵小学校の教職員関係者の車の駐車場について

【尾上】彼杵小学校は、狭い敷地の中にあり、行事等がある場合は近くの民間の駐車場を借りたりしている。教職員の駐車場はどうなのか。

【教育長】教師、指導員、支援員含めて34名。駐車場の利用は32名、2名は歩いてきている。その内11名の方はプール横に駐車している状態。

【尾上】プール横には民間の方が毎日のように駐車され、学校の関係者が車の駐車が出来ない状況がある。以前私有地があった為、地域との取り決め等があったのか。

【教育長】区長、役場関係者に聞いてもないとの事。以前より彼杵小学校も指導員、支援員含めて5～6名が増えており駐車に支障をきたしているのではと思う。今後、白線を引いたり、標示板等を作って知らせるようにしていきます。

プール横の駐車状況

林田　二三　議員

野良猫の不妊化を目的とした助成事業について

【林田】本町の野良猫不妊化助成事業について、現時点で何頭が不妊化手術実施されていて、地域に認知はされていますか。

【町長】避妊2頭・去勢1頭、計3頭。申請は2件で、地域認知されていません。

【林田】助成事業を利用された方、保護檻を借用された方からの感想等はありますか。また、助成費用について個人負担額がオスとメスで極端な差があります。なぜでしょうか。

【町長】感想は、以前から個人負担で不妊化手術している方から、助成ができて助かった、と。他、手術前後の写真撮影や病院の予約、役場の交付決定等もう少し時間短縮ができないか等意見も寄せられています。保護檻借用については手術時の借用は1件で意見は特段なく、地域猫活動に檻借用された方からは檻が非常に重いという意見がありました。費用については計画当初郡内動物病院に確認し参考に、事業内容は長崎市、佐世保市、大村市、長与町、時津町が参考ですが郡内では本町のみの実施です。

【町民課長】不用猫について窓口に来られた方には、まず県事業を勧めていますが、県事業は地域猫活動ですので、それが難しい方は町事業を利用できるようにと考えています。猫の殺処分を減らす目的で始めた事業で、長崎県の殺処分数が多いので不用猫の不妊化を今後進めます。

【林田】猫の繁殖力の強さ、スピードは驚くほどです。助成を有効に使うためにも、申請条件を今よりも使いやすいものに再検討してもらえないでしょうか。

【町長】町民皆さんにご理解していただくためにも区長会でお話しさせていただきたい。殺処分を減らす方向で他に対策があればいい方法の方で進めていきたい。

【林田】特定の野良猫の写真撮影、印刷し申請、特定の猫を捕獲する。実際捕獲作業を経験者からすると申請の流れは難度が高いと感じます。指定病院の件について、県事業でも同じ獣医師会指定病院と重なり予約が取りづらい状況で日程調整も難しい。指定病院の範囲を広げることはできませんか。

【町民課長】今後指定病院の拡大を検討してみます。写真提出等の条件は税金を使っておりますので今後もお願いしていきたい。

【林田】不妊化手術の目的であれば保護檻も借用可能ですが、檻は大変重く使いにくいです。殺処分数を減らす活動に関心を寄せていただくためにも誰にとっても使いやすい捕獲器を準備して貸出せるように検討できませんか。

【町民課長】今後使いやすい捕獲器に変更するよう検討していきます。

燃油・農業生産資材価格高騰の状況調査

産業建設文教常任委員会（令和４年８月２２日）

ロシアのウクライナ侵攻による影響で穀物等の輸入は滞り、また、ガス・石油等の輸出入制限で、世界経済は混迷を続け、更には円安による影響で、農業生産資材は高騰しており、農業経営を大きく圧迫しております。

そういった中で、現状を把握するためにＪＡ東そのぎ支店に出向き、調査を行いました。

東そのぎ支店管内の生産部会数は８部会です。

茶業部会　３３４．８ha（８６名）、みかん部会　２４ha（３５名）、苺部会　５６０a（３５名）
アスパラガス部会　２７７a（１８名）、びわ部会　６４a（２名）、玉葱部会　６３a（７名）
肥育牛部会　９８１頭（１５名）、繁殖牛部会　３７７頭（１２名）
※その他の取り扱いとして、水稲３３０haで２５０名、ミニトマト３名です。

肥料の流通と価格情勢については、６～１０月に供給する秋肥は、前期春肥に比べ単肥では尿素や塩化カリを中心に２５～９４％上昇、窒素・リン酸・カリを各１５％含む基準銘柄の高度化成肥料は５５％上昇する見込みです。穀物高騰で世界的に肥料需要が高まる一方、ロシアのウクライナ侵攻で需要が逼迫し、原料の国際市況が軒並み市上最高値まで上昇していることに加え円安も影響している。また、中国の輸出規制等で肥料輸出国からの輸出が停滞し、限られた肥料原料に世界中の需要が集中し、十分料の調達が難しくなっている。スーパー化成肥料（１４・１４・１４）については、令和４年１月に２,０５７円であったものが８月には３,４７６円に上昇している。

肥料原料を海外に依存するわが国では、土壌分析・低成分肥料と合わせ国内の地域資源（未利用資源）の活用が急務となっている。

園芸資材情勢については、原油高騰を受け、メーカー各社は１０％～２５％の値上げを発表している。

輸送コストについても３％上昇している。

ガス・石油の供給については、世界的には上昇しているもののＪＡながさき県央においては、ガスの供給価格は現在据え置きとのことで、また、重油については、令和２年は１ℓ当たり７３円であったが、令和４年は９９円で供給されている。

段ボールについては、各メーカーとも１㎡当たり１０円以上値上げすることを打ち出している。

肥育牛生産については、飼料高騰により出荷するまでに１頭当たり約１０万円のコスト高になるとのことです。それに因んで仔牛の市場価格も下がっており繁殖農家にとっても危惧するところです。

米価も現在は６０kg当たり約１３,０００円なので、肥料代や農薬代、機械代、苗代の経費を考えると生産者手取りはわずかな金額とのことです。

ＪＡながさき県央としては、６,０００万円の基金を５,０００万円ほど取り崩し、その対策に当たられています。また、肥料価格高騰対策として農業経営への影響緩和のために化学肥料の低減に向けて取り組む農業者に支援の対象となる肥料や支援の内容、申請に必要なものの資料を準備されています。

委員会からは、化学肥料低減に向けての堆肥の利用やＪＡながさき県央の施設の状況等の質問をし、また、農協組合長も行政に要望に出向かれたとのことから、議会にもいろんなことを要望されてはどうかとのことや、行政においても国県の事業・過疎対策債の活用等でいろんな分野においても支援を図られたいとの意見がありました。

旧大楠小学校校舎・コオロギ養殖場へ

総務厚生常任委員会（令和４年７月１４日）

閉会中の調査事件として、社会福祉協議会及び所管である税財政課への聞き取り調査を実施しました。

買い物支援サービスあたご

買い物支援サービス「あたご」では、昨年１１月より買い物支援サービスとして、月１回社会福祉協議会の車を利用しサービスを行っている。運転手は２名体制で運行し、婦人会の方にも付き添いボランティアをお願いされている。利用に係る経費や保険等は、社会福祉協議会が管理している。川内地区では運転免許証返納者の増加が期待される。運転手は現在２名体制で運行しているが完全なボランティアなので、事故等には十分注意をしていきたいとのことであった。

くらもと集いの広場「桜」

集いの広場「桜」では当初、引きこもりや認知症の高齢者を対象にしたボランティアの活動として同級生の有志が始められた事業である。年齢制限はなく、赤ちゃんから高齢者まで誰でも参加できるようにしている。

町からの補助金はなく、お金をかけないサービスで行っている。会費として月に１００円徴収し、イベント等に使っている。要望として、コロナ禍で飲食ができないため、活動日に移動販売車に来ていただけないか相談したいと話されていた。

委員から高齢者の買い物支援、通院支援、介護支援等は町全体として取り組んでいかなければならないとの意見や、車の運行には十分配慮して欲しいとの意見がありました。

旧大楠小学校跡地活用について

７月３日菅無田自治会の二ノ瀬地区の住民２４名が出席、跡地利用について税財政課長及び担当職員が説明を行った。説明の中で反対意見は出なかったが、災害時や停電時はどうするのか、夜間光はどうするのか等の質問があった。７月１３日は菅無田地区全体を対象に（３６名出席）ウラノ社長出席のもと会社の概要及びコオロギ養殖について説明がされた。住民からは特段反対の意見は出なかった。借用期間は２０年間、雇用は３～４名でほとんどロボットでの管理体制とのことであった。

傍聴者の声

9月の定例会の傍聴者は19人でした。

★初傍聴にて雰囲気を体感できたこと。町発展のため熱意と具体感が見えた。活発な協議がなされている。
（50代　男性）

★町民の声と町（役場）として考えていることが実際傍聴することで知ることが多かった。
（30代　女性）

★犬猫の問題に関して、TNR活動が全ての解決方法であるとは思わないが、老人、動物、弱者が排除されずに生活できる社会を、皆で考え問題視してもらえることを願っている。
（60代　女性）

★現状の通学方法は、不公平感があると思う。速やかに検討していただきたい。
（60代　女性）

✽傍聴ありがとうございました。一部抜粋して掲載しています✽

おわびと訂正

議会だより7月発行の「町民の声」欄において、地域おこし協力隊「森島剛」氏のお名前に誤りがありました。正しくは「もりしま　たけし」氏でした。
お詫びして訂正いたします。

協力隊のお2人が
町の魅力を発信
しています。
引き続きフォロー
お願いします！

Instagram　Facebook

議会だよりに掲載する町民の声募集

議会を傍聴して、議会だよりの感想、その他議会に関する町民の皆様の声をお寄せください。

- ●400字程度
- ●議会事務局へ持参、郵送又はメールで提出

※詳しくは議会事務局へお尋ねください。

編集後記

東彼杵町は、県の中心部に位置し空港に近く、交通アクセスに恵まれながらも少子高齢化の波と共に人口減少は年を増すごとに進んでいます。

ここ20年間の推移をみると約9千500人から毎年約100人ずつ減少し、現在約7千500人です。原因には、それぞれの考え方があるかもしれませんが、就職先や日々の生活に欠かせない買い物の利便性、また、広範囲のため地域の道路等の維持管理が負担になっているかもしれません。

町政懇談会でも道路等の整備や維持管理の要望が多くあったと聞いております。

議会と致しましては、今年から過疎地域に指定を受けたことにより、過疎対策事業債（70％補助）等の活用で建設的な提案をしながら執行部と共に、町民皆様方の暮らしやすい環境を整えて行かねばと思っているところです。

皆様方の忌憚のないご意見をお寄せ頂ければ幸いです。
（浪瀬）

委員長　尾上庄次郎
副委員長　浪瀬　真吾
委員　林田　二三
立山　祐次
口木　俊二
浦　富男